

【2025年（令和7年）】

10月 木島平中学校 10人、引率3人がディーキルシュ市を訪問



在ルクス日本大使館訪問

ディーキルシュ学校交流



パリ見学



【2025年（令和7年）】

【参加者の声】

- 現地に行かないとわからないことがたくさんあって、たくさんの事を学び、たくさん体験することができた。本当に充実した楽しい一週間だった。この経験をいろんなことに活かしていきたい。
- 私はこの一週間で沢山の大切なことを学び成長しました。最初は自分の言いたいことが伝えられず、翻訳機を使ったりもしました。しかし、最終日には家までハンナと歩いて帰っている時とか、まったく翻訳機を使わず私の言葉でハンナと喋ることが出来ました。他にもいろんな考え方や見方など、この訪問交流で出会った人たちのおかげでいろいろ知りました。きっとこの体験は私にとって一生の思い出になると思います。私はこの訪問交流で学んだこと、成長した事をこの先の人生に活かしていきたいと思います。
- 最初は、楽しもうという気持ちより心配の方が強かったけど、ホストファミリーが優しく接してくれたおかげで思いっきり楽しめました。家族のように接してもらったし、お土産もたくさんもらいました。日本の人と同じくらい「おもてなし」をしてくれて本当にありがたかったです。文化が違うことを肌で実感して、すごくいい経験になりました。でも、まだ英語でちゃんと伝えられなかったのもっと勉強して会話ができるようになりたいと感じました。この交流で経験したことは、人生の中でもいい経験になったと思います。この経験を経ていろいろな国に行って違う文化や生活を見てみたいと思いました。この機会を与えてくださった皆様に感謝をいたします。本当にありがとうございました。
- ディーキルシュ校は木島平中学校と全く違っていて驚きました。制服がなかったり、給食ではなく学食でご飯を食べたり、皆学校の中を自由に動いている。という風に感じました。皆校則などを気にする様子は全くなく、自由に生活していました。木島平中学校もディーキルシュ校のようにしたらいいと少し思いましたが、それにはもっと校舎が広くないと実現できないと思いました。ディーキルシュ校は校舎自体がものすごく広く、教室につくまでにたくさんの階段を上ったり下りたりしました。こんなに広くて迷わないのか気になったので聞いてみたら「なれちゃえば簡単だよ。」と言われました。ディーキルシュ校のように自由な校風にするのも一つの教育方針で、世界にはいろいろな勉強の仕方があることを学びました。
- ルクセンブルクに行っただけで英語の能力が上がったかどうかと聞かれると上がってはないと思います。でも、たとえ言語が違ってても伝えたいと思う気持ちが大事なのではないかと思います。さらに、ルクセンブルクの人には日本人の私たちにも気軽に挨拶をしてくれる優しい人たちばかりでした。
ルクセンブルク市でトラブルが起きてしまった時も同じグループの子や、ノラ、さらにノラの友達などたくさんの方が助けてくれました。そこで言語が同じでも、違ってても、生まれ育った国が同じでも、違ってても、ほんの少しだけ勇気を出せば友達になれることを知りました。この経験を日々の生活に活かして生きていきたいと思います。